

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「ハイ、ニコ、ピン」 かしく・たのしく・やさしく・まけない子を 育てる片山小学校
------------------	--

学校名	新座市立片山小学校
実施日	令和6年 1月12日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーの徹底や金曜日に会議等を入れないといった取組が行われている。 ・組織的に仕事ができているが、仕事量の削減、デジタル化による簡素化など物理的な働き方改革は引き続き必要。 ・校務分掌の負担が人によって差があるように感じる。 ・主任を十分に振り分けられていない。若手ベテラン関係なく、主任の分担をすべき。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営方針に基づき組織的に教職員の意識を高める取組が整備されている。 ・学年や学級経営、学校全体の掲示教育からも真摯な姿勢が伺える。 ・働き方改革においては、ノー残業、ノー会議等の取組を進めているようだが、改革まではまだ課題がある。質の改善に期待したい。 ・働き方改革を進める中で本来できていたことができなくなることがある。 ・教職員の意識を高めるためには、校務分掌の見直しや働き方改革に積極的に取り組んでいかなければならない。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、各教科の指導において「見方・考え方」を働かせ、カリキュラム・マネジメントを生かした授業を展開し、資質・能力の育成に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○のメガネ」といった各教科の「見方・考え方」を意識することのできるフレーズが子どもに定着する指導を行っている。 ・本校は他校に誇れるポイントがカリマネであると感じる。総合に向け、先生方の授業構成も工夫・改善されている。 ・学びの木を活用しながら、各教科のつながりを意識させることができるよう取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のカリキュラム・マネジメントを生かした授業展開は誇れる研修体制であることを感じる。このことは授業参観を通して「学びの木」掲示を活用した教科横断的なつながりを意識させる授業づくりの工夫・改善に熱心に取り組んでいることから伺える。 ・今後も資質・能力の育成に努めながら、子どもたちが夢と可能性に向かって歩いてほしい。 ・学びの木をうまく活用して自分の目標を定めていけるとよい。 ・まだまだ伸びしろがあるので引き続き努力をしてもらいたい。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをする環境を醸成している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員や来校者への挨拶は多くの児童が自然にできている。児童同士の挨拶が増える働きかけがあるとよいと思う。 ・代表委員会を中心に、朝の挨拶運動を行っている。各クラスにも挨拶に来てくれ、クラスの子たちも、挨拶に来てくれるのを待っている。挨拶をしようという気持ちが少しずつ高まっている。 ・友達に対する呼び捨て、お前ということなどを改善するとさらによいと思います。 ・今以上を求めるとすれば、家庭を巻き込まないと厳しい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童会あいさつ運動、全校集会での声かけを継続してあいさつ運動意識が高まっている様子。笑顔で元気にあいさつをする児童が増えて、教職員、来校者への明るい声が響き渡っている姿はほほえましい。「あいさつは人と人の関係を近づける魔法の魔法の言葉」などと言われている。保護者、地域、学校が一体となって粘り強く、あきらめず声かけをしていくことが大切。 ・笑顔で元気にあいさつをしている子供たちが多い。 ・地域や家庭に帰るとあいさつが減ってしまうこともあるが、以前と比べると良くなってきている。 ・あいさつをする意味、できる有り難さを子供たちに伝える必要がある。 ・公園で遊んでいる子供たちからは笑顔で元気なあいさつが返ってくる。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導委員会でも教師も外遊びが提案され、冬場は長縄に励む姿が多く見られる。 ・体力向上委員会を中心に、楽しんで運動に取り組むことのできる活動を行っている。 ・出ている学年が一定である。朝の外遊びはよいが、やはり教師がいなくて何かあったときに心配である。 ・どんな取組をしたのか聞かれると、教えるほどしかない。放っておいても運動する子たちではないからこそ、何かしら年間を通した取組が必要。 ・体力向上を実践する機会を設け取り組むべき。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上委員会及び生徒指導委員会の提案により、児童が楽しんで運動に取り組む環境づくりに努めている。体力の維持向上は生活の支えであり、学習意欲維持の源となるので、日頃の体力向上に更に努めてほしい。 ・体育以外で体を動かす機会が設けられているか。 ・全校として取り組めるものがあるか。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等はあるが、こまごましたものの紛失が目立つ。 ・年に1度研修を行っているが、毎年、実施が年度後半のように感じる。異動してきた先生方のためにも、年度の初めに教職員で不審者対応については確認したほうが良い。 ・休み時間の避難訓練が必要。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、休み時間等、迅速に対応できるよう定期的にマニュアル見直しがなされている。しかし、再点検も望まれる。 ・不審者対応は地域と連携して対策を練り、防犯体制を組み、地域との意思疎通を図っている。 ・教師の意識を高めていくように。 ・整理整頓ができない者は仕事ができない。 ・訓練をしていても想定外のことが起こりうるので常に意識してもらいたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	S	<ul style="list-style-type: none"> ・写真付きで、教育活動の様子を毎日発信している。 ・4、5、6年は曜日を決めて、子供に取り組ませることはできないか。(ICT委員会、片山向上委員会など) ・更新が滞っているHPのページをどうにかしたい。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の有効活用により学校活動の様子が具体的に詳細にわたって提供されている。閲覧数も増え、学校の最新情報が得られることの期待が大きい。このことは学校への関心の高まりと地域住民、保護者の信頼関係にもつながっている。 ・HPを毎日更新していることは素晴らしい。 ・家庭での会話の一つになるので継続してほしい。 ・保護者と地域の連携は常に考えてほしい。